

# 現行の保険証を維持させよう

## トラブル続きのマイナンバーカード

厚労省は来年秋に健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化しようとしています。

### 多額の税金を

### 使って行うのは

連日のようにトラブルが報道されているのに、なぜ急ぐのか。それは経済界の要望を受け、あらゆる個人情報为国が管理していくことにあります。国民の資産、生命保険等の膨大な情報を集めて企業が活用できることをねらっているのです。

マイナンバーカードをつくるのは個人の選択で自由です。政府が保険証を廃止すると言いだしてからつくる人が増え、つくれば2万ポイントもらえるとという宣伝でつくった人が多くいます。職場でもポイント還元を目的につくった人がいます。この宣伝とポイント還元で私たちが納めた税金が2兆円以上も使われたから驚きです。しかし、つくったとはいえマイナンバーカード活用に不安を感じている人が72%にもなっています。

こうした不安から返却する人が出てきています（その場合、2万円は返却しなくてもいいようです）。

私たちは個人情報の漏洩を防ぎ、現行の健康保険証を維持させていくためにも、マイナンバーカードの強制と健康保険証の廃止はやめるよう運動を大きくしていきます。

なお、新聞各社も社説で一致して「保険証廃止は反対」と報じています。



10月20日、臨時国会始まり、国会前行動

## ヤマトの労働者が

### 立ち上がった

日本郵便は10月からヤマト運輸との協業を始めました。東京段階は2025年ですが、地方によつては始まっています。これに伴ってヤマト運輸は3万人の雇止めを行うとされています。これに反対する労働組合が結成されました。この労働組合にマスコミは注目し、雇止め撤回を求めるネット署名は6万筆を超えました。

こうした声にふまえ組合はヤマト本社と交渉し、雇止め撤回を求めると、会社は「整理解雇ではない。お願いベース」だと回答したといっています。実際の地の事業所では契約終了の通知が撤回されているそうです。交渉は今後も続きますが、当初の雇止めを食い止めています。私たちもこの問題を注視し、支援していく必要があります。不当なことには連帯してたたかっていくことが大事です。